

他機関が実施する調査データ分析結果報告

(第 22 回長浜企業景況調査参考資料)

報告年月 令和 4 年 2 月

長浜商工会議所

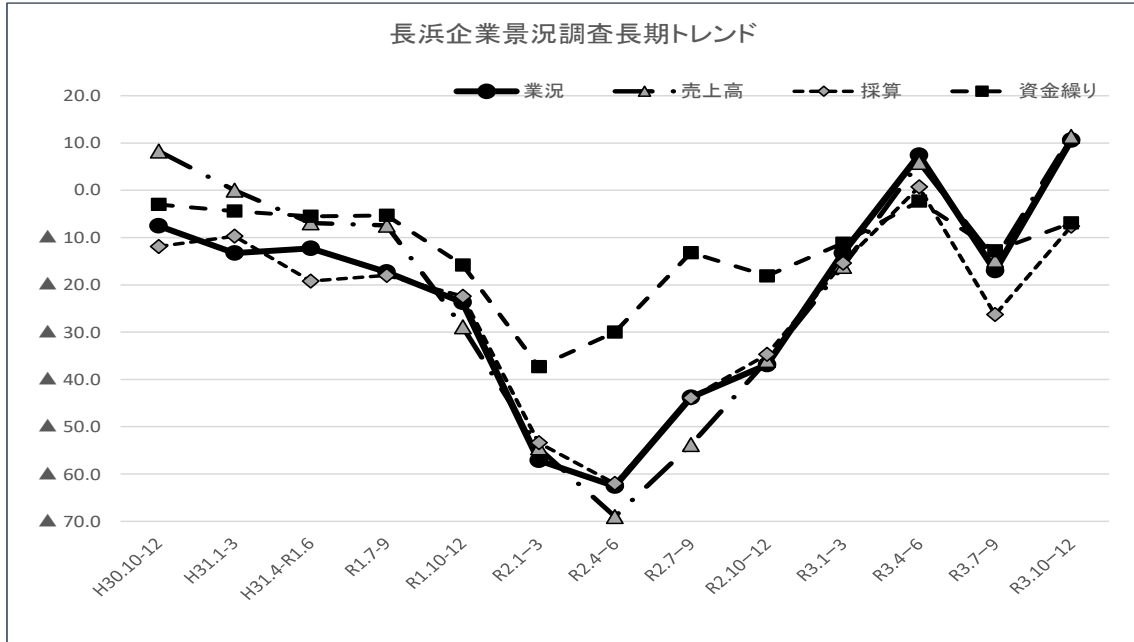
目 次

1. 長浜市の景況	
(1) 長浜企業景況調査…各種D I の長期トレンド	1
(2) 長浜企業景況調査…3 業種の売上高D I と採算D I	1
2. 滋賀県の景況	
(1) 滋賀県景況調査報告(滋賀県商工政策課編)	2
(2) 県内経済概況((株)しがぎん経済文化センター編)	7
(3) 中小企業アンケート結果(滋賀県信用保証協会編)	9
3. 近畿の景況	
(1) 地域経済動向(近畿)(内閣府編)	10
(2) 中小企業景況調査(近畿)(中小企業基盤整備機構編)	10
4. 全国の景況	
(1) 日銀短観(日本銀行)	11
(2) 中小企業景況調査(全国)(中小企業基盤整備機構編)	13

※本資料は上記資料をもとに作成したが、一部加筆変更部分が含まれる。

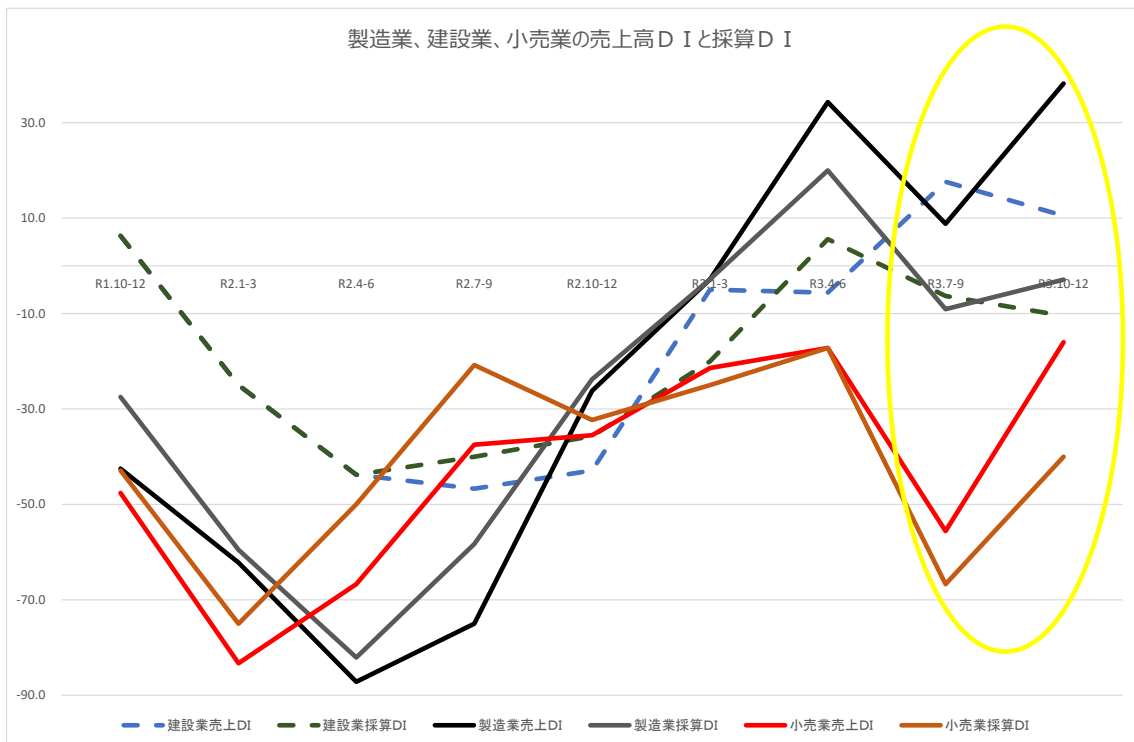
1. 長浜市の景況

(1) 長浜企業景況調査…各種D I の長期トレンド [前年同期比較]



	H30.10-12	H31.1-3	H31.4-R1.6	R1.7-9	R1.10-12	R2.1-3	R2.4-6	R2.7-9	R2.10-12	R3.1-3	R3.4-6	R3.7-9	R3.10-12
業況	▲7.5	▲13.3	▲12.3	▲17.3	▲23.7	▲57.1	▲62.6	▲43.8	▲36.9	▲13.3	7.4	▲17.0	10.6
売上高	8.3	0.0	▲6.9	▲7.4	▲28.9	▲54.5	▲69.0	▲53.8	▲36.0	▲16.1	5.9	▲14.8	11.4
採算	▲11.9	▲9.7	▲19.2	▲18.0	▲22.4	▲53.4	▲62.0	▲43.9	▲34.7	▲15.4	0.7	▲26.3	▲7.6
資金繰り	▲3.0	▲4.4	▲5.5	▲5.3	▲15.8	▲37.3	▲30.0	▲13.2	▲18.1	▲11.2	▲2.3	▲12.8	▲6.9

(2) 長浜企業景況調査…3業種の売上高D I と採算D I [前年同期比較]

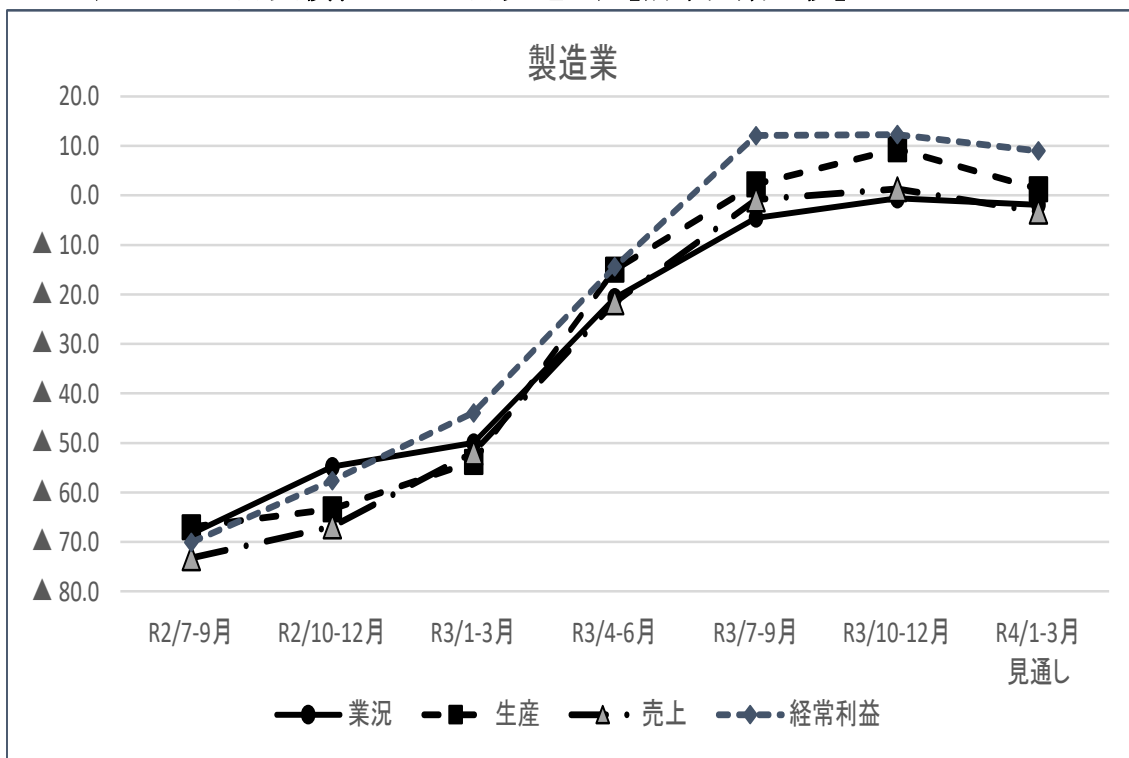


2. 滋賀県の景況

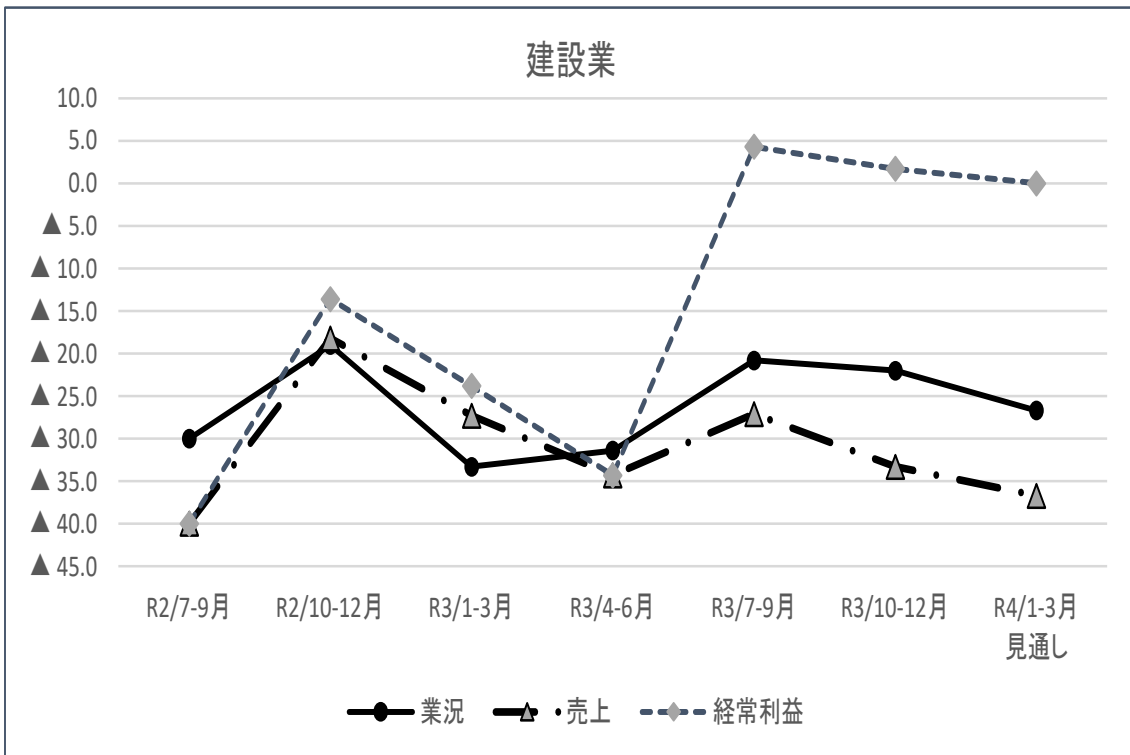
(1) 滋賀県景況調査報告（滋賀県商工政策課編）

① 滋賀県の業種別景況動向

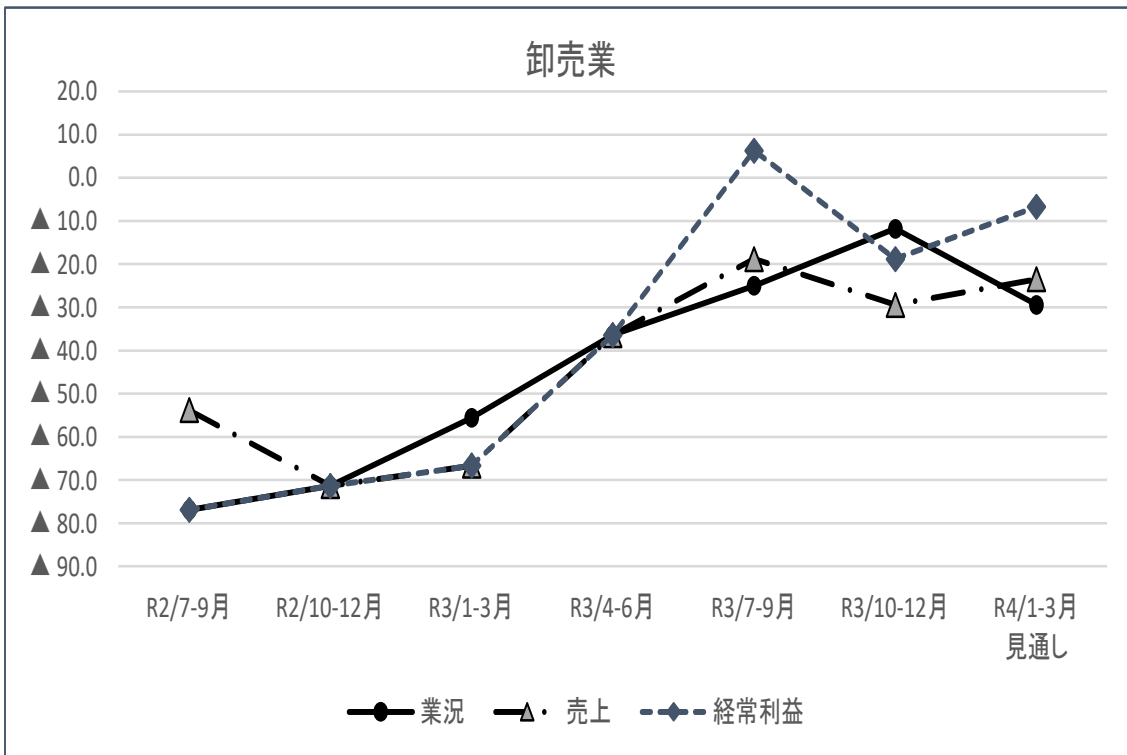
(R3/10-12月実績、R4/1-3月見通し) [前年同期比較]



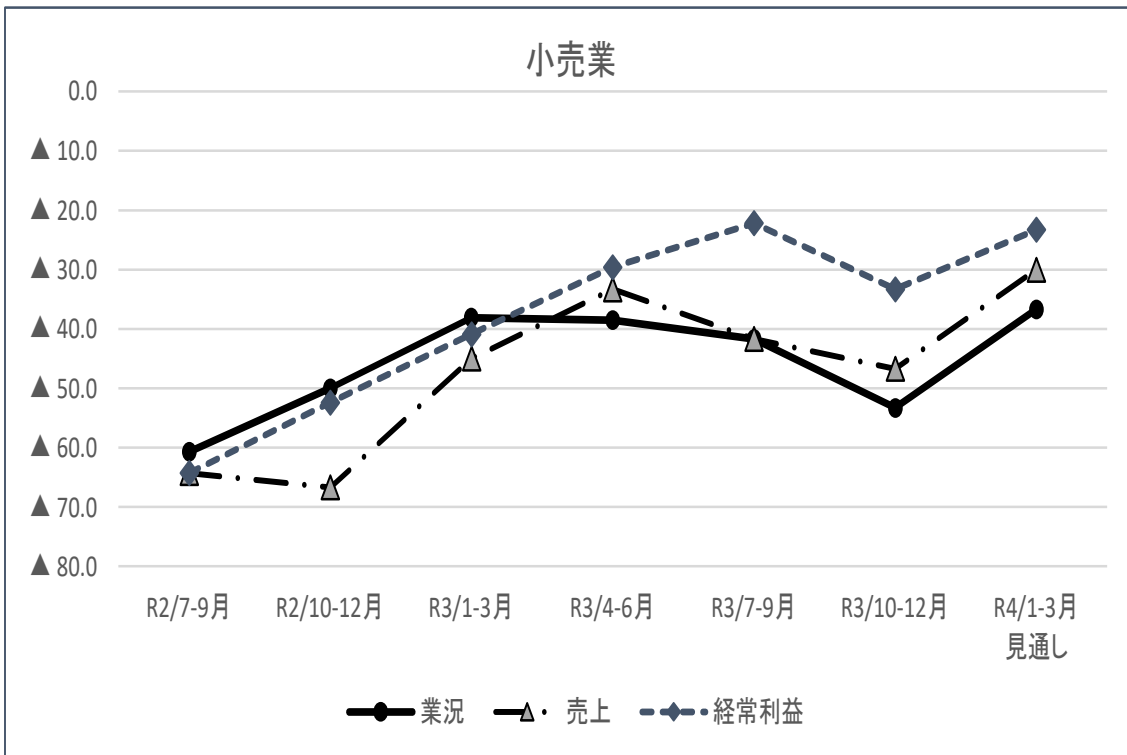
製造業	R2/7-9月	R2/10-12月	R3/1-3月	R3/4-6月	R3/7-9月	R3/10-12月	R4/1-3月見通し
業況	▲ 68.4	▲ 54.8	▲ 50.0	▲ 20.7	▲ 4.5	▲ 0.6	▲ 1.9
生産	▲ 67.0	▲ 63.4	▲ 53.8	▲ 15.0	2.3	9.4	1.3
売上	▲ 73.3	▲ 66.9	▲ 51.9	▲ 21.6	▲ 0.8	1.3	▲ 3.3
経常利益	▲ 70.1	▲ 57.6	▲ 43.9	▲ 14.4	12.1	12.3	9.0
傾向	●	●	●	●	●	●	×
回答社数	118	126	108	140	132	155	155



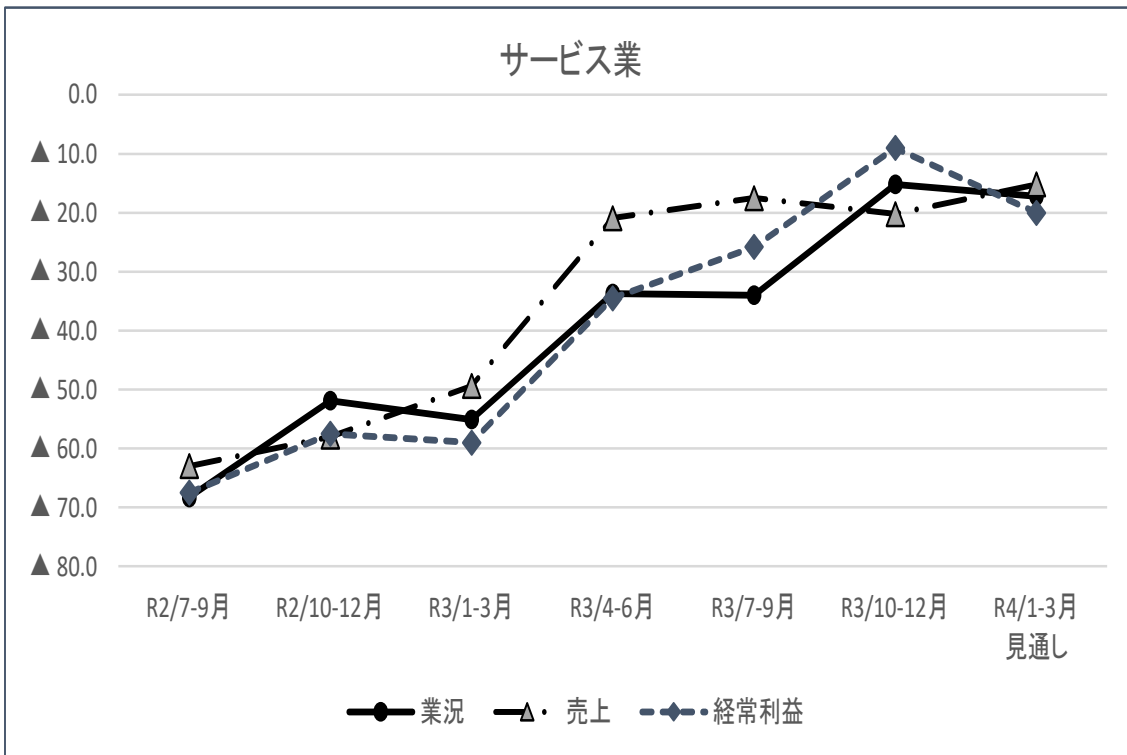
建設業	R2/7-9月	R2/10-12月	R3/1-3月	R3/4-6月	R3/7-9月	R3/10-12月	R4/1-3月 見通し
業況	▲ 30.0	▲ 19.0	▲ 33.3	▲ 31.4	▲ 20.8	▲ 22.0	▲ 26.7
売上	▲ 40.0	▲ 18.2	▲ 27.3	▲ 34.3	▲ 27.1	▲ 33.3	▲ 36.7
経常利益	▲ 40.0	▲ 13.6	▲ 23.8	▲ 34.3	4.3	1.7	0.0
傾向	●	●	×	●	●	×	×
回答社数	21	22	22	35	48	61	61



卸売業	R2/7-9月	R2/10-12月	R3/1-3月	R3/4-6月	R3/7-9月	R3/10-12月	R4/1-3月見通し
業況	▲ 76.9	▲ 71.4	▲ 55.6	▲ 36.4	▲ 25.0	▲ 11.8	▲ 29.4
売上	▲ 53.8	▲ 71.4	▲ 66.7	▲ 36.4	▲ 18.8	▲ 29.4	▲ 23.5
経常利益	▲ 76.9	▲ 71.4	▲ 66.7	▲ 36.4	6.3	▲ 18.8	▲ 6.7
傾向	×	●	●	●	●	●	×
回答社数	13	7	9	11	16	18	18



小売業	R2/7-9月	R2/10-12月	R3/1-3月	R3/4-6月	R3/7-9月	R3/10-12月	R4/1-3月 見通し
業況	▲ 60.7	▲ 50.0	▲ 38.1	▲ 38.5	▲ 41.7	▲ 53.3	▲ 36.7
売上	▲ 64.3	▲ 66.7	▲ 45.0	▲ 33.3	▲ 41.7	▲ 46.7	▲ 30.0
経常利益	▲ 64.3	▲ 52.4	▲ 40.9	▲ 29.6	▲ 22.2	▲ 33.3	▲ 23.3
傾向	●	●	●	×	×	×	●
回答社数	28	21	22	27	36	30	30



サービス業	R2/7-9月	R2/10-12月	R3/1-3月	R3/4-6月	R3/7-9月	R3/10-12月	R4/1-3月 見通し
業況	▲ 68.3	▲ 51.9	▲ 55.1	▲ 33.7	▲ 34.0	▲ 15.2	▲ 17.2
売上	▲ 63.0	▲ 58.0	▲ 49.4	▲ 20.9	▲ 17.5	▲ 20.2	▲ 15.2
経常利益	▲ 67.5	▲ 57.5	▲ 59.0	▲ 34.5	▲ 25.8	▲ 9.0	▲ 20.0
傾向	●	●	×	●	×	●	×
回答社数	85	83	83	88	97	101	101

② 滋賀県の景況調査 [企業から寄せられたコメント]

滋賀県内企業のコメント (R3/10-12月期)	
業況判断【好転】企業コメント	<p>昨年コロナ禍の影響があったが、現在、業況は大きく改善している。生産人員の不足が課題。</p> <p>昨年はコロナの影響により減産、今年はコロナ前の水準近くまで回復している。</p> <p>事業の成長スピードはコロナの影響で予定より鈍ったものの順調に伸びている。</p> <p>半導体不足により、少し受注がとまったが動き出している。</p> <p>新規取引先が出来て好転の方向にある。</p> <p>国の支援制度により資金繰りは心配していない。原油高騰を心配している。</p> <p>資金繰りは問題ない。市況は引き続き活況の見通し。</p>
業況判断【悪化】企業コメント	<p>業況は好転し始め売上も増加したが採算がとれるまでいかない。</p> <p>状況は依然厳しく、生産は増加しても利益が出ない。</p> <p>売上は回復傾向にあるが鋼材価格や電力、ガス等の大幅な値上げにより採算は厳しい状況が続く見通し。</p> <p>原材料高騰の影響により悪化。</p> <p>コロナ禍による車両の減産および半導体不足が主な要因。</p> <p>引き合い案件があっても、部材の入荷が困難。</p> <p>業況は好転し始めたが、持続化給付金ももらえず、コロナ借入金の返済がはじまったのと商品在庫の増加で資金繰りが悪化。</p> <p>原油高騰が大きく利益を圧迫。また、業界全体におけるドライバーの高齢化および不足が問題。</p>

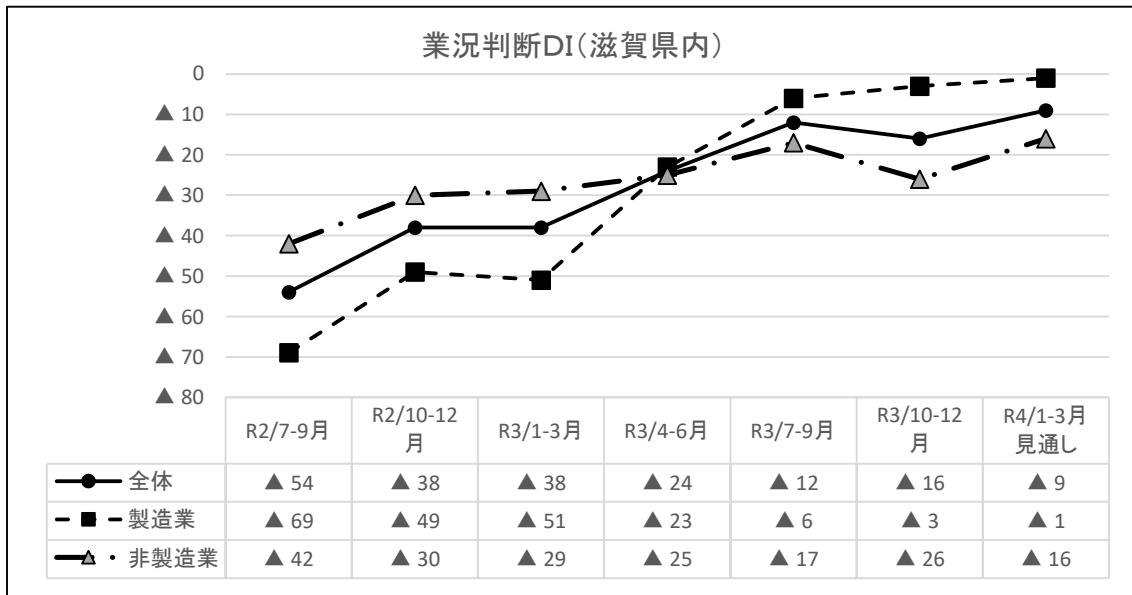
(2) 県内経済概況(株しがぎん経済文化センター編)

① 県内経済概況「概況」(令和3年11月ー令和4年1月)

R3/11	一部で持ち直しの動きがみられるものの、足踏み状態が続いている
	<p>製造業の生産活動はこれまでの回復傾向にブレーキがかかり鈍化の動きがみられる。需要面では、個人消費は緊急事態宣言などが全面解除されたものの、全体に伸び悩みが続いている。一方、投資需要では民間設備投資と住宅投資は増加、さらに公共投資も増加傾向が続いている。この中で雇用情勢は全体に前向きな動きがみられる。したがって県内景気の現状は、一部で持ち直しの動きがみられるものの、足踏み状態が続いている。</p>
R3/12	一部で前向きの動きがみられ、全体に持ち直しが続いている
	<p>製造業の生産活動は、半導体不足や部品供給の停滞などの影響が徐々に緩和され、一部の業種ではあるが回復に向けた動きがみられる。需要面では、個人消費は9月末に緊急事態宣言などが全面解除されたため、生活用品を中心に堅調に推移している。また、投資需要では住宅投資は減少となったものの、民間設備投資と公共投資で増加傾向が続いている。したがって県内景気の現状は、一部で前向きの動きがみられ、全体に持ち直しが続いている。</p>
R4/1	弱い動きがみられ、足踏み状態にある
	<p>製造業の生産活動は、自動車関連産業など一部の業種で回復に向けた動きがみられるものの、全体に伸び悩んでいる。需要面では、日用品は堅調に推移しているが、巣ごもり需要の一巡で家電販売などが弱い動きとなり、サプライチェーンの問題で部品供給への影響が残る自動車販売も低迷が続いている。また、投資需要では、住宅投資は大幅増加に転じ、公共投資も増加傾向が続いているものの、民間設備投資は大幅な減少となった。したがって県内景気の現状は、持ち直しの中で弱い動きがみられ、足踏み状態にある。</p>

※内容は前月データに基づくコメント。

② 県内企業動向調査(R3/10-12月実績、R4/1-3月見通し) [前期比較]



景況感は20年4-6月期以来、1年半ぶりに悪化

	回答社数	R3/7-9月	R3/10-12月	傾向	R4/1-3月見通し
製造業	134	▲ 6	▲ 3	●	▲ 1
繊維	17	▲ 54	▲ 35	●	▲ 35
木材・木製品	6	▲ 14	67	●	17
紙・パルプ	-	-	-	-	-
化学	11	▲ 10	18	●	9
石油・石炭	-	-	-	-	-
窯業・土石	-	-	-	-	-
鉄鋼	-	-	-	-	-
非鉄金属	-	-	-	-	-
食料品	9	▲ 60	▲ 33	●	▲ 11
金属製品	21	5	▲ 5	×	0
一般機械	9	15	33	●	▲ 11
電気機械	9	27	▲ 11	×	▲ 11
輸送用機械	-	-	-	-	-
精密機械	-	-	-	-	-
その他	31	▲ 8	▲ 16	×	6
非製造業	164	▲ 17	▲ 26	×	▲ 16
建設	52	▲ 14	▲ 15	×	▲ 23
不動産	13	36	23	×	15
卸売	22	▲ 40	▲ 46	×	▲ 18
小売	25	▲ 25	▲ 64	×	▲ 16
運輸・通信	10	8	10	●	20
電気・ガス	-	-	-	-	-
サービス	25	▲ 30	▲ 32	×	▲ 24
リース	-	-	-	-	-
その他	11	0	▲ 9	×	▲ 9

③ 県内経済概況「県内景気天気図」

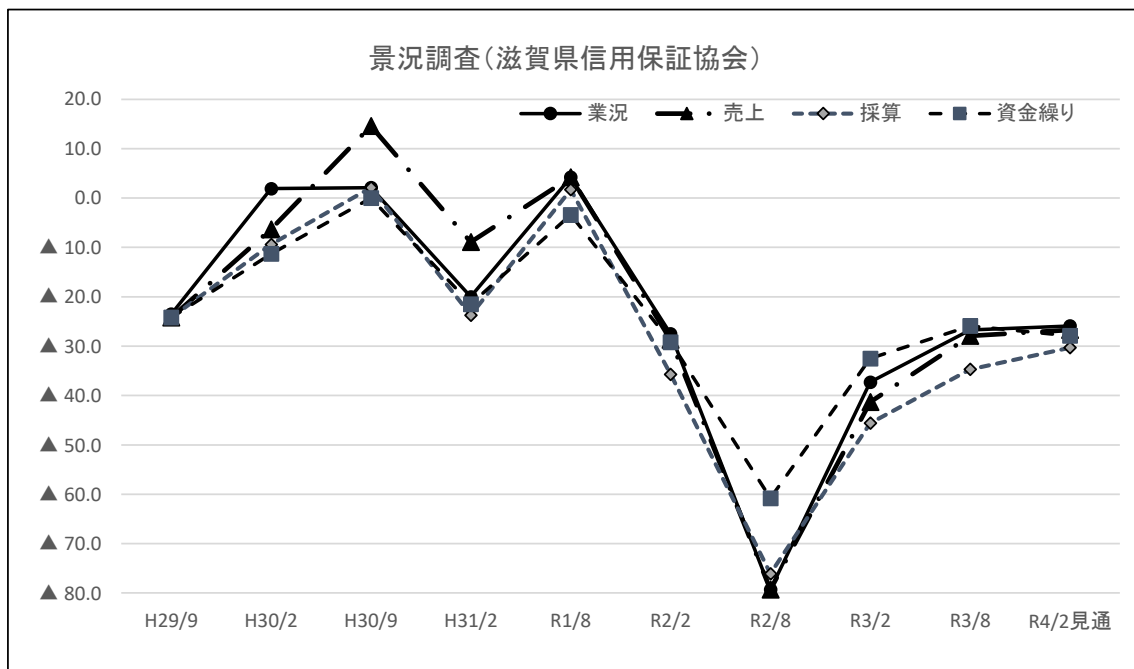
県内景気天気図	R3/7	R3/8	R3/9	R3/10	R3/11	R3/12
現在の景気	▲	▲	×	▲	●	×
3か月後の景気	▲	▲	▲	▲	▲	▲
生産活動	▲	▲	×	×	●	×
個人消費	▲	▲	×	▲	●	×
民間設備投資	▲	▲	●	●	▲	×
住宅投資	●	●	×	●	×	●
公共投資	●	●	●	●	●	●
雇用情勢	▲	×	●	●	×	▲

* 前期比 ▲は横ばい、●は好転、×は悪化を示す。

(3) 中小企業アンケート結果(滋賀県信用保証協会編)

○景況調査結果 (R3/8)

実施内容	調査時期：令和3年8月		調査方法：無記名アンケート方式			
		配布数：500	回答数：251	回答率：50.2%		
業種構成	建設業	23.5%	製造業	19.1%	サービス業	16.7%
	小売業	15.9%	不動産業	8.8%	運輸通信業	6.0%
	卸売業	4.8%	その他	4.4%		
従業員規模	5人以下：43.4%	6～20人：32.3%	21人以上：24.3%			



3. 近畿の景況

(1) 地域経済動向（近畿）（内閣府編）

令和3年12月

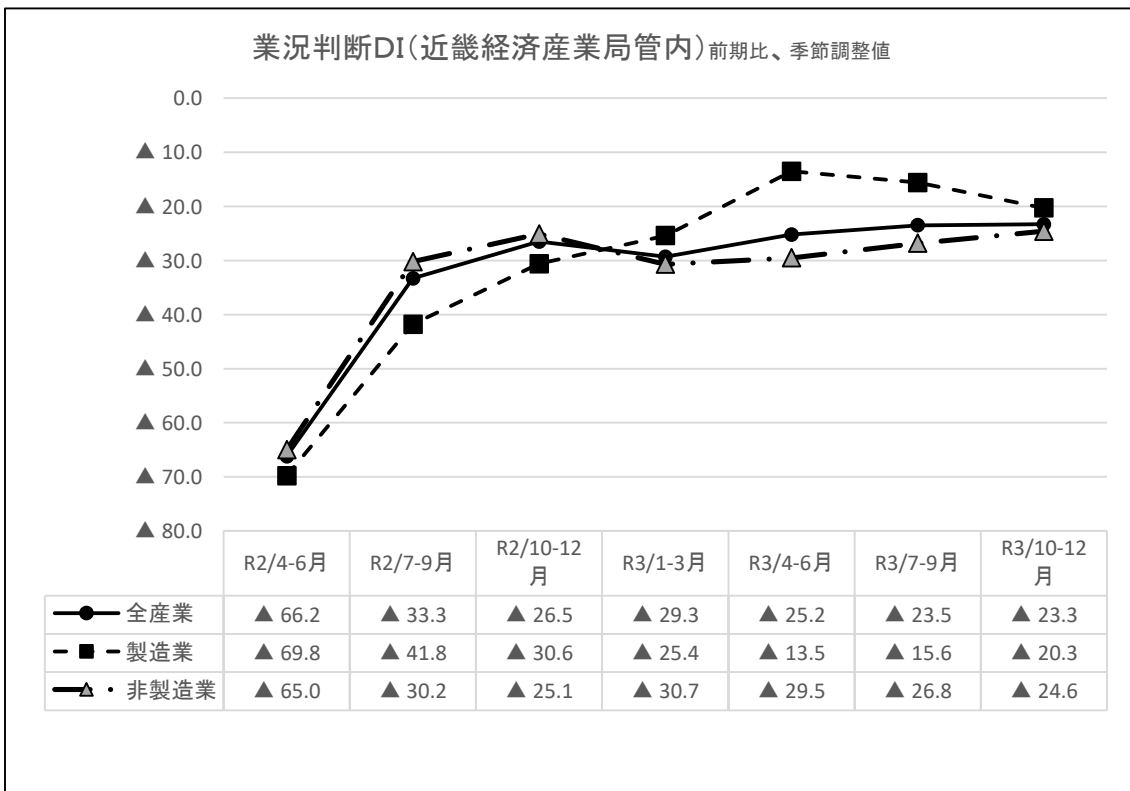
近畿地域では、景気は新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が徐々に緩和されつつあるものの、持ち直しの動きに弱さがみられる。

- ・ 鉱工業生産は持ち直しに足踏みがみられる。
- ・ 個人消費は一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる。
- ・ 雇用情勢は感染症の影響が残る中で、弱い動きとなっているものの、求人等の動きに底堅さもみられる。

(2) 中小企業景況調査（中小企業基盤整備機構編）

「近畿地域」：業況判断DI [前期比較]

①業種別業況判断DI



4. 全国の景況

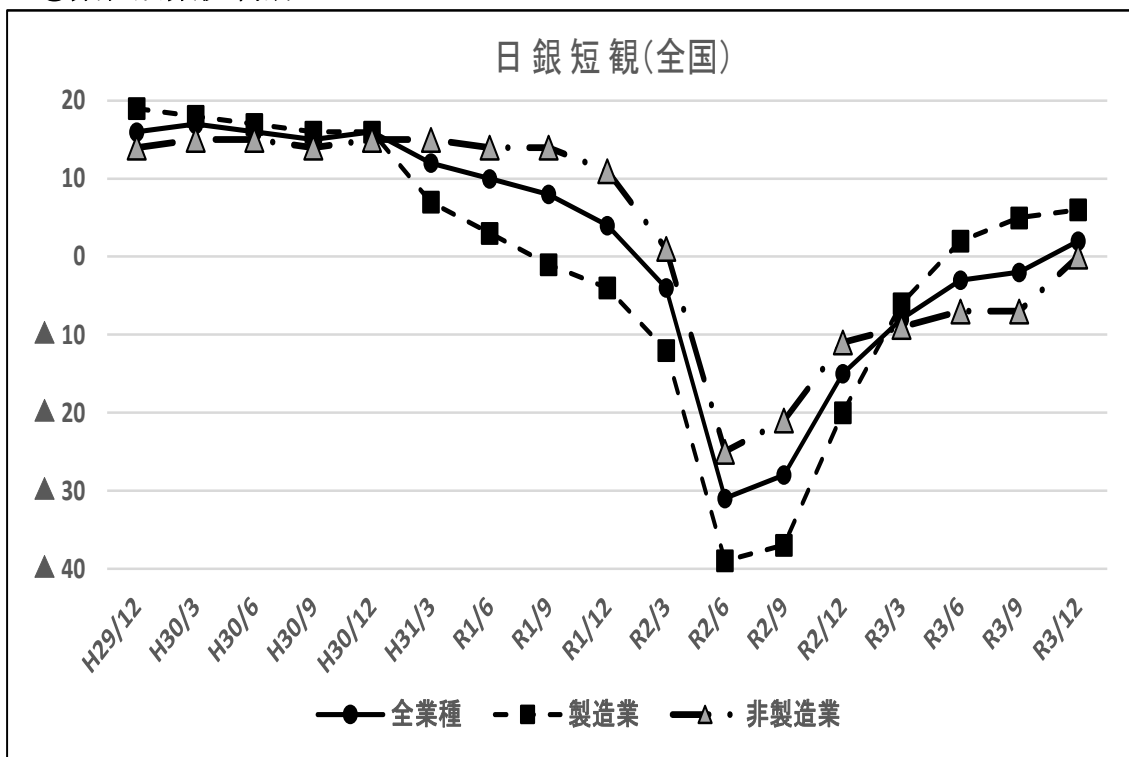
(1) 日銀短観（日本銀行）：業況判断 DI [前期比較]

①概況

- ・大企業・製造業は前回の令和3年9月調査と同じ+18で、国内外の設備投資需要の高まりを追い風とした生産用機械、業務用機械などの改善が大きかった。一方で、資源価格上昇がコスト増となる化学や鉄鋼など素材業種を中心に多くの業種で悪化したほか、半導体など部品不足の影響が剥落したものの、未だ挽回生産には至っていない自動車での悪化が製造業全体の景況感回復を足踏みさせた。
- ・大企業・非製造業は+9（前期比7ポイント改善）と、6四半期連続で改善した。10月の緊急事態宣言全面解除を背景に、コロナ禍で需要が激減していた娯楽業、旅行業を含む対個人サービスや宿泊・飲食サービスといった対面型サービスで大幅に改善した。

（三菱UFJリサーチ&コンサルティング「経済レポート」（2021年12月13日）より）

②業種別業況判断 DI



③設備投資計画（含む土地投資額）

設備投資計画（含む土地投資額）は、20年度に実行できなかった設備投資の持越し、アフターコロナに適應するための設備投資などから、21年度の計画は、規模や業種にかかわらず前年度より高まっている。12月調査では中小企業・製造業の計画が引き続き強まっている。

投資内容別に見ると、土地投資額は大企業・製造業および中小企業・非製造業において強まりをみせている。ソフトウェア投資額は中小企業・非製造業において強まったが、研究開発投資は中小企業・非製造業において急ブレーキがかかった。

設備投資計画 (含む土地投資額)		2020年度	2021年度（計画）			
		(実績)	3月調査	6月調査	9月調査	12月調査
大企業	製造業	-8.8	3.2	13.3	13.3	12.4
	非製造業	-8.1	2.9	7.4	8.2	7.5
中小企業	製造業	-12.4	-1.1	2.3	6.4	10.3
	非製造業	-6.3	-7.9	0.2	3.8	2.3

* 含む土地投資額、除くソフトウェア投資額及び研究開発投資額

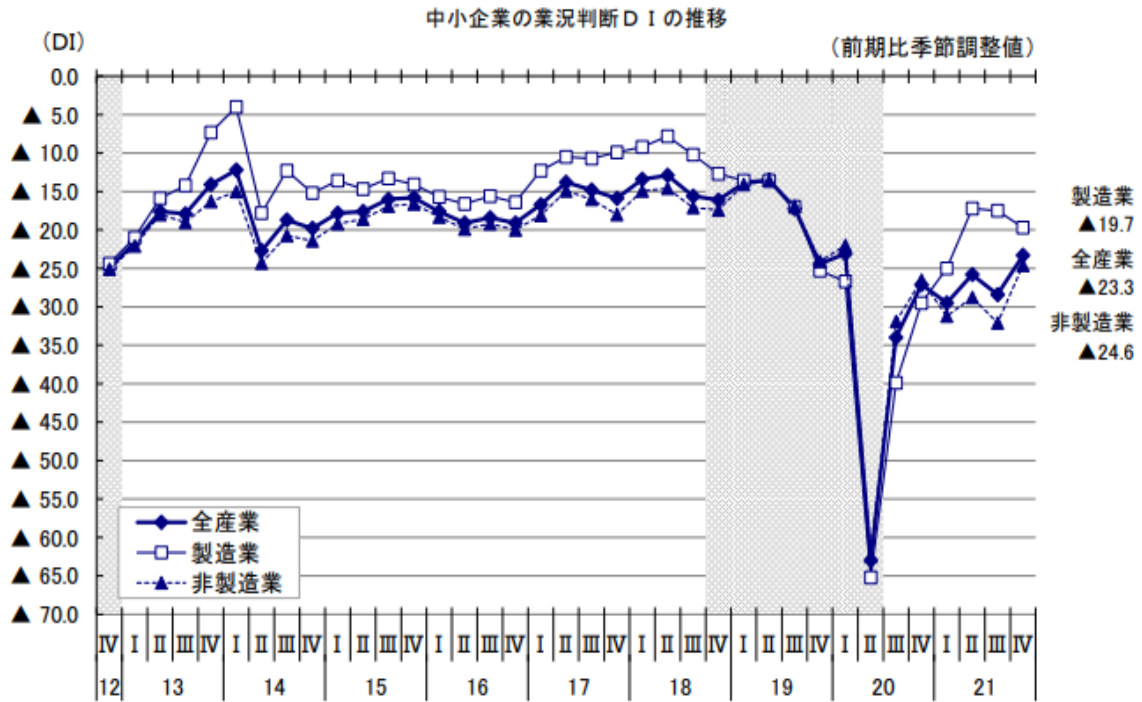
土地投資額		2020年度	2021年度（計画）			
		(実績)	3月調査	6月調査	9月調査	12月調査
大企業	製造業	-4.8	-28.2	-9.1	14.5	23.9
	非製造業	31.2	-6.2	-18.2	-15.7	-14.3
中小企業	製造業	-16.3	-52.6	-40.3	-46.3	-20.4
	非製造業	18.9	-21.3	-17.7	-6.0	4.6

ソフトウェア投資額		2020年度	2021年度（計画）			
		(実績)	3月調査	6月調査	9月調査	12月調査
大企業	製造業	-4.5	8.4	21.7	22.6	20.2
	非製造業	-9.5	4.3	10.2	7.7	8.0
中小企業	製造業	-22.0	17.9	44.6	57.4	54.4
	非製造業	-9.5	-4.4	10.3	15.2	22.6

研究開発投資額		2020年度	2021年度（計画）			
		(実績)	3月調査	6月調査	9月調査	12月調査
大企業	製造業	-5.6	1.6	6.6	5.4	5.5
	非製造業	0.3	1.7	4.6	6.8	4.7
中小企業	製造業	-2.6	7.7	10.5	7.4	5.0
	非製造業	0.5	19.0	52.0	54.5	17.7

(2) 中小企業景況調査 (中小企業基盤整備機構編) 「全国」 [前期比較]

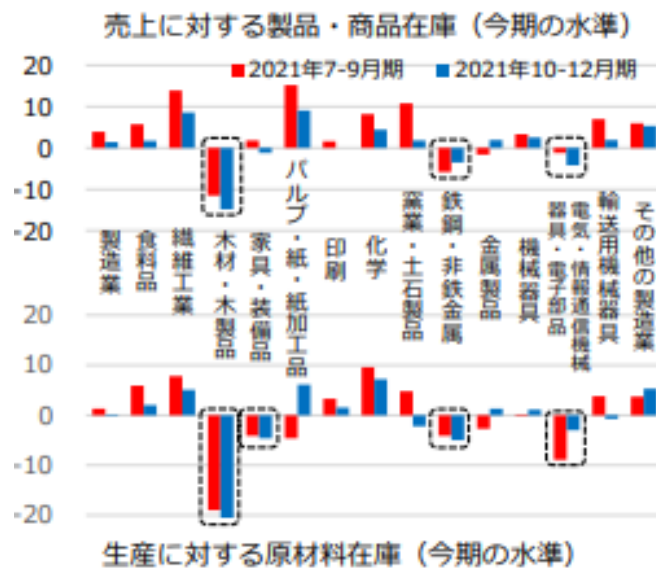
①業種別業況判断 DI



(注) シャドー部分は景気後退期

②トピックス：製造業14業種の原材料、製品・商品在庫の水準

製造業の「売上に対する製品・商品在庫DI」は6期連続して低下しているが、14業種別にみると、木材・木製品、鉄鋼・非鉄金属、電機・情報通信機械器具・電子部品で不足超が続いており、さらに「生産に対する原材料在庫DI」でも、前記業種に加え家具・装備品で不足超が続いている。



(中小企業診断士 川副 郷一郎)